

主題：
ヨハネの繕う務め

メッセージ 3

永遠の二つの区分と時間の架け橋

聖書：ヨハネ1:1, 3-5, 14, 16-18, 29, 32, 42, 51

- I. ヨハネによる福音書第1章はキリストに言及しており、彼は永遠の二つの区分を伴っており、宇宙の歴史における5つの最も偉大な出来事、すなわち、創造、肉体と成ること、贖い、油塗り、建造の中にいます——参照、詩90:1-2. ミカ5:2:
- A. ヨハネによる福音書全体の序章である第1章は、過去の永遠において「旅をしている」言である三一の神の歴史の概要です——1, 4-5, 51。
- B. 「(しかし、ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの千万の間で最も小さいが、あなたからわたしへと、イスラエルの支配者となる者が出て来る。また、彼の出て行くことは太古から、永遠の日々からである)」——ミカ5:2:
1. これはキリストの永遠の起源（参照、詩90:1-2. イザヤ57:15, 13後半. 66:1-2）を指しており、永遠において、地が創造される前、キリストが出て来る準備をしていたことを示しています。太古から、永遠の日々から、三一の神は永遠から出て来て時間の中へと入り、ベツレヘムにおいて人として生まれることによって、彼の神性を伴って人性の中へと入る準備をしていました。
 2. キリストの出て行くこと、すなわち、彼の現れは、継続的な事柄です。彼は肉体と成った時、出て来ることを開始しました。彼は継続して出て行って、人の生活、死、復活、昇天を経過し、究極的に完成された霊（すなわち、キリストご自身の実際）を注ぎ出すことを経過し、福音の宣べ伝えを通して彼が人の住む全地に拡大することを経過しました。
 3. 彼の出て行くことはやむことなく、彼の有機的な救いのすべての段階、すなわち、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化を通して、今日もわたしたちの内側でさえ継続しています。
 4. キリストの出て行くこと、すなわち、彼の出現は、彼が勇者たち（ヨエル3:11）である彼の勝利者たちと共に戻って来て、反キリストを打ち破り、火の池に投げ込む時（啓19:19-20）、サタンがアビスの中に投げ込まれる時（20:2-3）、キリストがご自身の御座を設立して王として支配する時（マタイ25:31, 34, 40）究極的に完成するでしょう。その時、彼の現れが完成します。
- C. ヨハネによる福音書第1章が結晶化された方法でわたしたちに示しているのは、永遠の言が、彼の創造の働きにおいて、時間の橋を越えて旅することで肉体と成って法理的な贖いを達成し、また油塗る、命を与える、造り変える霊となって有機的な救いを成し遂げ、最終的に、彼の再生され、造り変えられ、栄光化された花嫁と全く結合され、ミングリングされ、合併されて、新エルサレム、究極のベテル、神と人の相互の住まいになるということです——参照、1節. 10:35. エペソ6:17. ヨハ

ネ6:63。

II. 神の言であるキリストは、彼の創造を通して、神のために語ります——1:3 :

- A. 「天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。昼は昼に言葉を出し、夜は夜に知識を告げる。話もなく、言葉もなく、その声も聞かれない」——詩19:1-3。
- B. 「神の見えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません」——ローマ1:20。
- C. 使徒行伝第14章15節から17節と第17章24節から29節で言及されていることは、神のために語るキリストの創造を啓示するという同じ目的にかなっています——参照、ヘブル11:3, 1:2, コロサイ1:15-17, ハガイ2:7。

III. 神の言であるキリストは、神の幕屋として、彼の肉体と成ることを通して、神のために語ります——ヨハネ1:14 :

- A. 言は肉体と成ることによって、神を人性の中へもたらしただけでなく、人々の間にある地上における神の住まいとして、神にとって幕屋ともなりました。それは恵みと実際に満ちていました：
 - 1. 律法は神が何であるかにしたがって人に要求しますが、恵みは神であるものをもって人に供給します——17節。
 - 2. 「わたしたちはみな、彼の豊満から、恵みの上にさらに恵みを受けた」——16節。
- B. 彼は肉体と成ることで、三一の神の具体化となって、神を人にもたらし、神を接触することのできるもの、触れることのできるもの、受け入れることのできるもの、経験することのできるもの、入ることのできるもの、享受することのできるものとなりました。
- C. 彼は神・人となって、神性を人性の中にもたらし、神性と人性をミングリングさせました。
- D. 神のひとり子が肉体と成ることは、言において、命において、光において、恵みにおいて、実際において、神を人に告げ知らせる（説明する）ためでもあります——18節。

IV. 神の言であるキリストは、贖いのために神の小羊となることを通して、神のために語ります——29, 36節 :

- A. キリストが、失われたこの世を贖うために小羊となることにおいて、わたしたちに語っていることは、どのように神が神の義にしたがって手続きとしての彼の死を通して彼の法理的な贖いを達成したかということです。
- B. 神の小羊は、神の全き贖いを達成する旧約のすべてのささげ物の成就としての、肉体における言を表徴します——ヘブル10:5-10 :
 - 1. キリストは、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、揺り動かすささげ物、挙げるささげ物、注ぎのささげ物の実際です。
 - 2. すべてのささげ物としてのキリストをもって、わたしたちは神の全き贖いを持ち、この贖いを経験し、享受することができます。

V. 神の言であるキリストは、油塗る霊となることを通して、神の贖われた民を神の家（ベテル——51節）を建造するための石へと造り変えて（ヨハネ1:32-42）、有機的に新エルサレムとならせるために、神のために語ります：

A. キリストが油塗る、命を与える、造り変える霊となるために（Iコリント15:45）、さらにわたしたちに語っていることは、どのように神がご自身の心の願いにしたがって、神聖な定められた御旨のために、神聖な命によって神のエコノミーを遂行しているかということです。

B. わたしたちは目を覚まして、日常生活における何事も、わたしたちの霊の中で油塗る霊としてのキリストに置き換わらせないようにする必要があります——Iヨハネ2:20, 27：

1. キリストは、油塗る方、あるいは、油塗りとなる、油塗られた方です。反キリストの原則の中で生きることは、油塗りに反対することです（「反対する」とは「逆らう」こと、「代わりに」という意味です）——18, 22節. 4:3. IIヨハネ7。

2. 反キリストであるとは、キリストに逆らうこと、何か他のものでキリストに置き換わることです。

3. もしわたしたちが自分自身の振る舞いや性格の何かをもってキリストに置き換わらせるなら、わたしたちは何かをキリストご自身に置き換わらせるという意味で反キリストの原則を行なっています——参照、ピリピ1:21. 4:4-9。

4. わたしたちは、日常生活を反キリストの原則の中で生きて、文化、宗教、道徳、天然の観念を、内なる油塗りとしてのキリストに置き換わらせていることを悔い改める必要があります。

5. わたしたちは祈るべきです、「主よ、わたしたちは、わたしたちの内にいる三一の神の動き、働き、浸透である油塗りの中で、油塗りををもって、油塗りを通して、油塗りによって生き、歩みたいです」。

C. 油塗る霊としてのとは、創造された人を再生し、天然の人を油塗って生ける石へと造り変え、造り変えられた人を結合します。

D. ペテロの転向の時、主は彼にペテロ、すなわち石という新しい名前（ヨハネ1:42）を与え、ペテロがキリストに関する啓示を受けた時、主はペテロが岩（石）（マタイ16:16-18）であることをさらに啓示しました。これら二つの出来事によって、ペテロは、キリストと彼の信者たちの両方が神の建造のための石である（Iペテロ2:4-8）という印象を受けました。

VI. 神の言であるキリストは、天（神）を地（人）にもたらし、地（人）を天（神）に結び付けて、神の建造のために一とならせるはしごとなるために、神のために語ります——ヨハネ1:51. 創28:11-22：

A. キリストがベテルにおける天のはしごであることにおいて、またわたしたちに語っていることは、どのように神が地上で、ご自身の贖われ造り変えられた選びの民で構成されている家を得て、それによって彼が天を地にもたらし、地を天に結び付けて、永遠に二つを一にするかということです。

B. ヤコブの夢はキリストの啓示です。なぜなら、キリストはヤコブがベテル、神の家で見たはしごの実際であるからです。——12節. ヨハネ1:51：

1. 今日の神の住まいである（エペソ2:22）、わたしたちの再生された霊は地上にある基礎であり、天のはしごであるキリストがその上に立てられています（Ⅱテモテ4:22）。
 2. 天の門である神の家、神の住まいであるベテルで、キリストは地を天に結びつけ、天を地にもたらしはしごです。このゆえに、わたしたちは霊に戻るときはいつも、神をわたしたちにもたらし、わたしたちを神にもたらしはしごとしてキリストを経験します。
 3. 天のはしごとしてのキリストの結果は、ベテル、すなわち召会、キリストのからだです。このはしごの究極的完成は新エルサレムです。
- C. 主の再来は、彼を追い求める者たちの堅固な建造を必要とします。この建造は、彼が地を占有するための踏み石、橋頭保となり、神と人の両方の相互の住まいとなるでしょう。それは永遠に神性と人性との、また人性と神性との混ざり合いであるでしょう。……この建造はヤコブの夢の究極的な成就であるだけでなく、神の永遠のご計画の究極的な成就でもあります。それは時間の橋を終わらせ、未来の祝福された永遠を導入します。わたしたちはその建造のためであり、その建造でなければなりません！（ヨハネによる福音書ライフスタディ、第5編）

© 2017 Living Stream Ministry